1 看護学実習の目的・目標

<目的>

学習した理論や方法を統合し、あらゆる健康レベルにある対象に応じて科学的根拠に基づいた看護を実践できる能力を養う。

<目標>

- (1) あらゆる健康レベルにある看護の対象や対象を取り巻く環境を総合的に把握できる。
- (2) 対象の個別性に応じて必要な看護を判断し、計画的に実践する過程を身につける。
- (3) 保健医療福祉システムにおける看護の役割を認識し、対象のQOLを高めるための看護活動が理解できる。
- (4) 看護者として対象との信頼関係を築くために常に自己を洞察し、共感的態度がとれる。

2 実習計画表

学年 月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年					基礎看護学実習 I-1			基礎看護学実習 I-2		基礎看護学実習 II	
2年			成人看護学実習 I			成人看護学実習 II				母性看護学実習 小児看護学実習 老年看護学実習 I	
3年		地域・在宅看護論実習 老年看護学実習 II 精神看護学実習			成人看護学実習 III		統合実習				

3 実習科目・単位数・時期及び実習施設

	科目	単位	実習期間	実習施設
基礎	基礎看護学実習 I-1	2	1年次 9月	岐阜県総合医療センター
	基礎看護学実習 I-2		1年次 11月	
	基礎看護学実習 II		1年次 1~2月	
地域 在宅	地域・在宅看護論実習	2	3年次 5~6月	中濃厚生病院、美濃市立美濃病院、愛生病院 デイサービスセンター、地域包括支援センター
成人	成人看護学実習 I	2	2年次 6月	岐阜県総合医療センター
	成人看護学実習 II	2	2年次 10月	
	成人看護学実習 III	2	3年次 9月	
老年	老年看護学実習 I	1	2年次 1~2月	中濃厚生病院、美濃市立美濃病院
	老年看護学実習 II	2	3年次 5~6月	山県グリーンポート ナーシングケア寺田、山県グリーンビレッジ、リバーサイド笠松園 ファミリーケア北方、ファミリーケア本巣、岩砂ローズガーデン 福光グリーンホーム
小児	小児看護学実習	2	2年次 1~2月	岐阜県総合医療センター、各務原市保健相談センター 県立希望が丘こども医療福祉センター
母性	母性看護学実習	2	2年次 1~2月	岐阜県総合医療センター、岩砂病院・岩砂マタニティ ゆりレディスクリニック
精神	精神看護学実習	2	3年次 5~6月	公益社団法人岐阜病院
統合	統合実習	2	3年次 11月	岐阜県総合医療センター
	合計	23		

4 実習科目と実習のねらい

科目		ねらい
基礎看護学実習 I	I-1	病院見学を通して、病院内で働いているさまざまな職種とその役割を知り、また、看護師が働いている部署と業務内容を知ること、これから学ぶ看護活動の動機づけとする。
	I-2	入院患者とのコミュニケーションを通して、対象の生活環境や行われている看護について学ぶ。また、看護者としての自己の関わりを振り返り、相手を尊重した接し方について学びを深める。
基礎看護学実習 II		看護過程のプロセスを用いて、健康障害をもつ対象の日常生活への影響を理解し、日常生活援助を通して、看護技術と方法の基礎を学ぶ。
地域・在宅看護論実習		多様な場で療養・生活する人々に対して、チームで継続したケアを提供する必要性を理解し、保健・医療・福祉における連携・協働を推進するための方法及び看護職の役割について学ぶ。
成人看護学実習 I		看護過程のプロセスを用いて、対象の健康障害が及ぼす影響を理解し、健康上の問題解決を目指した援助の実際を学ぶ。
成人看護学実習 II		身体的・精神的・社会的特徴をふまえ、健康障害が対象に及ぼす影響を理解し、対象の全体像をとらえたうえで、健康上の課題解決を目指した個別性のある看護を学ぶ。
成人看護学実習 III		対象の全体像を理解し、健康障害が個人および家族に及ぼす影響をアセスメントし、健康レベルに応じた個別性のある看護を学ぶ。その中では、退院後の生活を見据えた問題の予防・解決についても幅広く考える。
老年看護学実習 I		加齢に伴う老年期の特徴や健康状態の変化を理解し、対象の残存機能やセルフケア能力を活かした援助の実際を学ぶ。
老年看護学実習 II		高齢者の生活の場の多様性を知り、健康意識や生活環境をもとに個々に応じた支援方法や施設サービスの実際を学ぶ。さらに、生活の場の多様性や施設サービスの実際から高齢社会の課題を考える。
小児看護学実習		子どもの生活や療育・教育における場と治療や看護を受けながら生活をする場において、成長発達を支え、健康状態に応じた看護の実際と役割を学ぶ。
母性看護学実習		妊娠期・分娩期・産褥期にある対象の理解とその経過が新生児に与える影響がわかり、必要な看護について学ぶ。さらには、家族を含めた母子関係確立のための支援について学ぶ。
精神看護学実習		精神に障害をもつ人とその家族への理解を深め、精神の健康回復への援助過程を通して、精神看護の実際と多職種・他機関との連携について学ぶ。また、対象との関わりから自分の特徴に気づき、患者－看護師間関係を発展させる関わり方を学ぶ。
統合実習		既習の知識・技術・態度を統合し、看護チームの一員として、また、チーム医療の中での看護師の役割を理解し、看護を実践することで看護実践能力向上を目指す。さらに、これまでの自己の看護を看護師としての倫理的責任の視点から振り返り、自己の課題を明確にする。